

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

69号
2021
11.5

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されました。鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。

紅葉ライトアップ! 2021

11/13(土)~12/5(日) 夕暮れとともに光が灯ります! 午後8時閉園(入園は7時半まで)

※ 同時に観覧温室夜間開室! 午後5時~午後8時開室(入室は7時半まで)

※ 2022 京都府立植物園カレンダー 好評発売中! (植物園会館売店および各門にて)



← 京都府立植物園[公式]Twitterアカウント始めました! 見頃情報を中心につぶやいています。



京都府立植物園[公式]YouTubeチャンネル始めました! 動画で園内の様子を紹介しています。→

第55回 菊花展

- 期間: 10月20日(水)~11月15日(月)
- 場所: 大芝生地特設展示場、正門前、植物展示場
- 内容: 大菊、小菊(懸崖作り、盆栽作り)等約300鉢を展示(販売あり)

ガーデニングコンテスト

- 期間: 10月23日(土)~11月7日(日)
- 場所: 正門園路特設ガーデン
- 内容: 個人・グループがガーデニング力を競います!

第37回 菊花切花展

- 期間: 11月3日(水祝)~11月5日(金)
9:00~17:00(最終日16:00まで)
- 場所: 植物園会館1階展示室
- 内容: 大菊の切り花約50点を展示

秋季さつき展

- 日時: 11月6日(土) 13:00~17:00
11月7日(日)~11月9日(火)
9:00~17:00(最終日16:00まで)
- 場所: 植物園会館1階展示室
- 内容: サツキの盆栽、鉢植え約50点を展示(販売あり)

◆11/7(日) 秋季さつき展開連講習会

- 植物園会館2階研修室 13:30~15:00(受付13:00~)
- サツキに関する講習会
- ※定員: 先着60名
- 講師: 京都みやび臈月会会員

第8回 苔・こけ・コケ展

- 期間: 11月12日(金)~11月14日(日)
9:00~17:00(最終日16:30まで)
- 場所: 植物園会館1階展示室
- 内容: テーマ「~小さな緑 秘めたる生命力~」
コケの栽培品やコケの生態写真、コケアートや工芸品を展示(コケグッズの販売あり)
- ◆11/13(土)、14(日) 苔・こけ・コケ展開連講習会
〈午前の部〉10:30~12:00(受付 10:00~)
〈午後の部〉13:30~15:00(受付 13:00~)
- 場所: 植物園会館2階研修室
- 内容: 「コケと遊ぼう」コケテラリウムを作る
- 講師: 泉原一弥氏(地球温暖化防止活動推進員)
- 定員: 各回、当日先着20名(材料費: 1,500円)

「水曜ミニガイド」 植物園認定ガイドがご案内!
毎週水曜日は・・・
植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!
毎週土曜日は・・・
植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「植物園ガイド」が植物案内!
~見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!~
① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
③ ガイドは1時間程度。(無料)
* 申込先: 京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時~正午、午後1時~午後4時
- 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

「副園長のほっこりガイド」

11月21日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!
植物園会館前集合: 午後2時スタート!

スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!

植物園HP!



⑫ キンシヤチ(金鯱)

サボテン科。メキシコ中部原産。当園の個体は1930(昭和5)年11月にメキシコのバルメー博士が宮内庁に献上された一つで、本種が日本に最初に導入された固体である。1990(平成2)年に京都大学農学部附属農場より寄贈された。

⑪ 子福桜(コブクザクラ)

バラ科。野生種のカラミザクラとコヒガンから生まれたと考えられる栽培品種。一つの花に雌しべが複数あることが特徴。そのため、一つの花に複数の果実が実ることから「子宝に恵まれるめでたい花」とされ、それが名前の由来となった。

⑩ シーマニア・シルウァティカ

イワタバコ科。ペルー、ボリビアなどの森林に分布。茎頂近くの各葉腋から花柄を伸ばし、赤～オレンジ色のベル形の花を横向きに咲かせる。花の先端は小さく5裂し、やや反り返り、内側は黄色で小さな斑点がある。

⑨ トウガラシ(観賞用)

ナス科。野生種は中央・南アメリカに分布。日本でよく食用や観賞用に用いられるのはアンヌーム種で、数多くの雑種や園芸品種が生まれており、果実の姿形は球状、円錐状など様々。全米審査会(AAS)での優良品種を展示している。

① サンシュユ

ミズキ科。中国、朝鮮半島が原産。春には葉が出る前に黄色い小花が咲き、木全体が黄金色に輝く。秋にはグミのような艶やかで赤い実が成る。この様子からハルコガネバナ(春黄金花)、アキサンゴ(秋珊瑚)などの別名でも呼ばれる。

② パパイア

パパイヤ科。熱帯および亜熱帯地域原産。沖縄などでは果物としてよりもむしろ野菜として利用されている。冬の寒さで枯れてしまうため、当園では、秋に種まきを行い、冬はガラス温室で越冬させ、4月下旬以降に花壇に定植している。

③ パンパスグラス

イネ科。南アメリカやニュージーランドなどに分布。アルゼンチン中部に広がる大草原「パンパ」で多く見られることからこの名が付いた。洋風の庭に植え込むほか、切り花などとしても利用される。和名では「シロガネヨシ」とも呼ばれる。

④ アマミヒイラギモチ

モチノキ科。奄美大島の山地にのみ分布する奄美大島固有種。雌雄異株で前年枝の葉腋にあるごく短い短枝に1~3個の花をつける。花は緑白色の小さな4弁花。果実は直径6mm程度の球形で赤く熟す。園芸用として採集され激減した。

⑤ バラ「うらら」

バラ科。蛍光色のような濃いピンクの花色が魅力的な日本で作出された品種。形の良い花が株を覆い尽くすほどに咲き競う。花付きが良く、春から秋まで休みなく開花し、夏でも色あせず鮮やかに開花する。1995年JRCコンテストで金賞受賞。

⑥ オハラメアザミ

キク科。北陸から近畿地方北部に分布。日本固有種。漢字では「大原女薊」と書き、京都市北白川に多く自生していることに由来する。草丈1.5~2mになる多年草。総苞は筒状で、総苞片にトゲがほとんどないのが特徴。

⑧ ユリオプスデージー

キク科。南アフリカを中心に分布。岩場や砂丘の斜面に自生する。葉や茎に細毛が生えているので、全体が灰白色に見える。黄色の花を長期間咲かせ、株は大きくなると茎が木質化してさらに大きくなる。暖地では冬越しができる。

⑦ イクソラ

アカネ科。熱帯各地に約400種が分布。花は直径2~3cmの小花が多数集まって半球状に咲く。花色は紅、淡紅、橙、黄や白と豊富である。開花期間が長いことから、現地では景観樹や花壇、生け垣などに利用されている。

